

テーマ別資料案内

緊急事態宣言が解除され、新たな局面に入ってひと月ほど経過しましたが、まだまだ予断は許されず、手洗い、マスク、密を避ける…等々引き続き注意が必要です。コロナ禍の中、収入が減り、生活に困っている人は日本人だけでなく、日本に在留している外国籍の方もたくさんいらっしゃいます。今回は「外国人」のテーマで資料を紹介いたします。

・「貧困・外国人世帯の子どもへの包括的支援 ～地域・学校・行政の挑戦～」

貧困かつ外国人世帯など、複合的困難を抱えている子どもたち。すべての子どもが「生まれてきてよかった」と感じられる社会をつくるにはどうすればよいのか地域・学校・行政における実践事例を紹介し、包括的支援のあり方を考える。

柏木 智子・武井 哲郎 編著 晃洋書房（2020）

・「外国人の医療・福祉・社会保障相談ハンドブック」

日本で生活する外国人の支援を行うにあたって、知っておきたい医療・社会福祉・社会保障にまつわる知識・情報をまとめる。「在留資格のない児童の児童手当」など12の事例を記載、事例から学ぶ対応と利用可能な制度を紹介する。関係法令・通知・資料も収録。

移住者と連帯する全国ネットワーク 編 明石書店（2019）

・「滞日外国人支援基礎力習得のためのガイドブック」

国内に暮らす外国人は増加傾向にあるが、外国人支援に日常的にかかわる社会福祉士等は少なく、外国人支援に関する知識を得る機会も乏しい状況である。本書は、前年の調査結果を踏まえ、社会福祉士等が滞日外国人支援を行う上で必要とされる知識を補い、他機関・多職種と連携、協働する視点などを盛り込んでいる。経験の浅い社会福祉士等でも支援のイメージが掴みやすいよう事例も複数掲載。

日本社会福祉士会多文化ソーシャルワーク調査研究事業委員会 編集

日本社会福祉士会（2019）

・「外国人看護・介護人材とサスティナビリティ～持続可能な移民社会と言語政策～」

医療福祉に従事する外国人労働人材をどう持続的に支援し、かつワークシェアしていくべきか。外国人看護・介護人材受け入れの現状と課題を論じ、日本語教育及び

000 国家試験の支援等について、看護人材・介護人材に分けて考察する。

宮崎 里司 編著 くろしお出版（2018）

・「福祉技術と都市生活

～高齢者・障がい者・外国人・子どもと親への配慮～

「福祉」という言葉を改めて辞書で引くと、「幸福」と同意であることがわかる。誰もが快適に過ごせる都市環境をつくるにはどうすればよいのか。「高齢者」「障がい者」「外国人」「子どもとその親」という新しい4つの視点で、最適な福祉技術を考える。障がい者差別解消法でいう“合理的配慮”にも言及する。

西山 敏樹 著 慶応義塾大学出版会（2017）

・「外国人介護労働者の受入れと課題」

日本の介護労働者不足問題を取り上げ、それを解消するための一つのキーワードである外国人介護労働者の受入れについて考察を行い、課題や問題点を明らかにする。また、韓国における外国人産業研修制度等にも触れる。

姜 美香 著 晃洋書房（2019）